

2023年度「TKU進一層賞」受賞者一覧

I. 学芸部門

表彰内容	学部・学年	氏名	分野	論文・作品名
父母の会会長賞 佳作	経済4年	新井 陵太	紀行文	ひとり世界一周旅行 ～なんのスキルもないただの大学生が、リュック1つで世界一周してきた話～
父母の会会長賞 奨励賞	経済4年	岩本 直樹	紀行文	私たちはどう生きるか
父母の会会長賞 奨励賞	経済4年	和田 燎雅	評論、エッセイ	サンクションのジレンマ Sanction's Dilemma

II. 資格取得部門

表彰内容	学部・学年	氏名	分野	区分					
学長賞、父母の会会長賞	経営3年	今村 連		公認会計士					
	経営4年	亀山 恭哉							
	経済4年	日置 大輔							
学長賞、葵友会会長賞	経営4年	大隅 愛衣		公認会計士					
	卒業生	坪田 俊裕							
	卒業生	鈴木 雄仁							
学長賞、父母の会会長賞	卒業生	丹 建太	会計	日商簿記1級					
	経営2年	荒木 恭輔							
	経営3年	坂本 翼							
	経営2年	伊藤 充希							
	経営4年	田畑 紀香							
	経営3年	今村 連							
	経営4年	佐藤 航介							
	経営4年	中嶋 太一							
	経営2年	菊池 康嵩							
	経営3年	佐々木 凜							
	経営4年	江原 匠馬							
	経営2年	藤村 歩乃華							
	経営4年	廣瀬 大士							
	経営3年	今村 連							
	経営4年	佐藤 航介							
	経営4年	一條 匠							
	経営4年	高着 俊亘							
	経営2年	松浦 俊介							
	経営2年	藤村 歩乃華							
	経営2年	黒川 雅姫							
	経営3年	小松 寛奈							
	経営3年	神山 愛依璃							
	経営4年	鈴木 翔也							
	経営3年	大西 敏幸							
	経営4年	伴田 陽矢							
	現代法4年	中島 舞香							
	現代法4年	福田 菜菜実							
	経営4年	小幡 亮太			英語	TOEIC750点以上			
	経営3年	小磯 華奈							
	経営4年	澤井 龍之介							
	経営4年	伊東 詠輝							
	経営3年	松島 知春							
	経営3年	大木 巧巳							
	経営学修士2年	陳 霄							
	経営1年	柿沼 幸輝							
	経営4年	北野 達也							
	経営4年	東 音和							
	経営4年	蔵田 みのり							
	経営4年	佐伯 紘汰							
	経営4年	堀内 万梨紗							
	経営2年	松田 匠翔							
	コミュニケーション2年	中野 修斗							
	経営3年	石川 涼也							
経営4年	廣瀬 啓汰								
コミュニケーション2年	舟橋 浩子								
現代法3年	谷口 直子								
コミュニケーション2年	小山田 衣織								
経営4年	矢口 陸								
コミュニケーション3年	小林 未依								
経営3年	宮川 陸								
コミュニケーション3年	市川 智史								
経営3年	益永 祥希								
経営3年	片野 楓海								
経営3年	坂牧 寛太								
経営3年	大熊 一輝	情報	基本情報技術者						
経営4年	三上 健太								
経営4年	山本 和弘								
経営2年	松岡 葵								
経営4年	田中 敦貴								
経営4年	伊東 詠輝								
経営4年	中牟田 洋行								
経営3年	山宮 香凜								
学長賞、父母の会会長賞	上記以外の資格合格者数			人数			分野	区分	
									54
		72	会計						日本商工会議所簿記検定3級
		11	法律						法学検定スタンダード
		3							ビジネス実務法務検定2級
		23							法学検定ベーシック
		4	英語						ビジネス実務法務検定3級
		31							TOEICテスト600点以上
		22	情報		ITパスポート				
		18			MOS(ワード)				
19	MOS(エクセル)								
9	2級ファイナンシャル・プランニング技能士								
3	宅地建物取引士								
4	一種証券外務員								
3	統計検定2級								
2	秘書技能検定準1級								
30	3級ファイナンシャル・プランニング技能士								
23	秘書技能検定2級								
1	二種証券外務員								
1	日商2級販売士								

表彰内容	人数	分野	区分
CSC運営委員長賞	54	会計	日本商工会議所簿記検定2級
			日本商工会議所簿記検定3級
			法学検定スタンダード
学長賞	3	法律	ビジネス実務法務検定2級
			法学検定ベーシック
CSC運営委員長賞	23	英語	ビジネス実務法務検定3級
			TOEICテスト600点以上
		情報	ITパスポート
			MOS(ワード)
			MOS(エクセル)
			2級ファイナンシャル・プランニング技能士
			宅地建物取引士
			一種証券外務員
			統計検定2級
			秘書技能検定準1級
3級ファイナンシャル・プランニング技能士			
CSC運営委員長賞	30	その他	秘書技能検定2級
			二種証券外務員
			日商2級販売士

Ⅲ. 課外活動部門

1. 体育会分野

最優秀団体賞(学長賞)	体育会(団体)		東都軟式野球春季リーグで準優勝ののち、西関東大会を勝ち抜き、第三回全日本軟式野球選抜大会に出場を果たした。全国のリーグを勝ち抜いた30チームが参加した同大会では、準決勝で優勝校に惜しくも敗れたものの、3位入賞を果たした。
	軟式野球部		
最優秀個人賞(父母の会会長賞)	軟式野球部(個人)		東都大学軟式野球リーグで春・秋の2季連続ベストナイン、秋季リーグ個人2冠(本塁打・打点王)、リーグ選抜選出という優れた成績を残した。また、西関東ブロック大会の立教大学戦では勝ち越しホームランを打ち、4年ぶりの全国大会出場に大きく貢献した。
	コミュニケーション3年	市川 智史	

2. 文化会分野

なし

3. その他の学生活動分野

優秀団体賞(学長賞)	ボランティアサークル Clover		様々なボランティアを行い、地域に貢献をした。 Cloverの活動を少しでもたくさんの人に知ってもらい、活動の規模をさらに広げ、より多くの人に貢献をしたい。 《主な活動内容》 ・「こくフェス」受付 会場整理 出演者、来場者の誘導 ・「西国分寺駅50周年記念駅前フェスティバル」会場設営、受付、運営、片付け ・「子供農業体験講座」受付、畑までの往復見守り、収穫補助、体験日記の補助 ・「元町公民館 子ども遊び」受付、体験企画(アイス・綿あめ・かき氷・コイン磨き) ・「通学路清掃」通学路(国分寺～東京経済大学)の清掃 ・「METROCK2023」来場者へのごみ分別案内 ごみの分別 他 計33件
	現代法3年	野口 飛翔	
優秀団体賞(学長賞)	国分寺市多文化共生ボランティア		「国際姉妹都市提携30周年記念事業・マリオン市交流イベント」(12月9日・国分寺市主催)で「多文化共生ボランティア」として活躍した。 8月上旬頃から12名で活動を開始。国分寺市人権平和課の指導を仰ぎながら、交流会の出し物や役割分担について話し合い、およそ4カ月をかけて準備を行った。また、交流会の広報のために、学生が国分寺市 YouTube チャンネル「ぶんぶんチャンネル」に出演した。 《当日の本学学生の活動内容》 ・会場設定 ・一般参加者のための受付 ・一般参加者のための歌と踊りの指導 ・ビデオ会議システムを通じてマリオン市長と英語による討論 ・3つのワークショップ(アポリジナルペインティング、ワインセミナー、食文化体験)に分かれ、一般参加者と交流 ・会場撤収 学生の活躍は国分寺市役所から高い評価を得ただけでなく、交流会に出席した国分寺の市長、教育長ならびに市民の皆さんに対しても本学の存在感と日頃の教育の成果を披露することができた。
	経済2年	深津 直哉 ほか11名	
優秀団体賞(学長賞)	渡邊・藤井特別ゼミ		イベントの開催やコンテンツの創造を通じて、学生やOBに対して、愛校心の向上や学生の学びの機会の創出、SDGsの啓蒙などに取り組んできた。 《活動内容》 1 Let's浴衣ですたでの開催 SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」を達成するために、浴衣で授業を受けたり、打ち水をししたりと、キャンパス内の活気づけやSDGsの啓蒙に大きく貢献した。 今年度は三味線演奏会や寄席、茶道体験なども盛り込み、日本文化に触れる機会の創出にも貢献。茶道体験には留学生も参加。 2 健康フェスタの開催 「食生活相談会」やアルコールパッチテストなど、学生や教職員の健康意識向上に大きく貢献した。 今年度は新たに「脳年齢テスト」や「栄養クイズ」、企業と連携した「野菜摂取量チェック」もを行い、100人を超える来場者を動員した。 3 東経大ウインターフェスタの開催 12月一週間の中で、イルミネーションの点灯や飲食販売、映画上映会、校内装飾など多くの企画を行った。 学生の愛校心向上や昨年に引き続き約10年使われていなかったイルミネーションを使用することでSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」の達成にも大きく貢献した。
	経済4年	川尻 歩唯	
優秀個人賞(父母の会会長賞)	経営1年	江森 賢聖	株式会社メンバーズが主催する第7回CSVビジネスアイデアコンテストに応募し、株式会社良品計画から企業賞を受賞することが出来た。 進一層賞の発表を通して他の学生にも積極的に挑戦をし、自分の知らなかった現状に目を向けて欲しいと思った。 「自分も地域も幸福度1位になる、1000人の村への移住計画とは？」という企業テーマで、熊本県の五木村を1つのケースとして移住計画を考えるよう提示があった。 私は住んでいる地域や年齢も異なる大学生とチームを組み、オンラインで連絡を取り合いながらこのテーマについて議論を交わした。 さらに、議論を踏まえて、実際に熊本県の五木村を訪れて、現地の住民の声や村の生活環境を肌で感じて考えを深めた。 総評では、「村人の立場になって考えられており、一番現実味があった」という言葉をいただき、実際に今回のアイデアを実現に移していくことになった。 この経験から、考えたらすぐに行動に起こすという実行力と、物事を様々な角度から思考する力が身につけることが出来た。 (全国の大学生134チーム・総勢482名のエントリーのうち16チームに選ばれ、本選に出場した。)
優秀個人賞(父母の会会長賞)	経営2年	大丸 明日香	「令和5年度 消費者教育学生セミナー」にて、所属するグループが「消費者教育に関する企画・提案」において最優秀賞を獲得した。 (東京経済大学からは10年ぶりの参加学生) 様々な大学の学生、院生が参加し、講義・演習を通じて消費者市民社会の実現に向けた消費者教育に関する知識・技能を身につけ、さらにワークショップとしてグループに分かれて消費者教育の具体的な課題・提案をまとめ、成果としてプレゼンテーションを行うもの。 即席グループの班長として最年少ながら班をまとめ上げ(上級学年や院生がいる中で)、グループ発表の資料作成及びプレゼンターとして活躍した。 1990年代から続く本セミナー内の課題発表で最優秀賞をとることは非常に難しく、その意味では東京経済大学の名前を知らしめたことに大きな意義がある。
優秀個人賞(父母の会会長賞)	経営1年	木暮 真理	「AEONMOBILE BRAND MESSAGE CONTEST 2023」にて「イオンモバイルアイデア賞」を受賞。 多くの人にイオンモバイルという事業とMVNO、MNOについて知ってもらいたいと考えた。調べていくうちに興味を持ち、また全く違う分野だからこそ、自身のアイデアや発想力で勝負し、挑戦してみたいと考え、今回コンテストへの応募を決めた。 MVNOとMNOの違いや特徴、長所・短所、歴史などをみんなで楽しく理解できるような人生ゲームを提案した。 書類・作品選考、プレゼンと質疑応答の審査を通過し、企画部門で「MVNOのスマホとMNOのスマホのどちらかを手に進む人生ゲーム～あなたはどちらを選びますか?～」という作品で、「イオンモバイルアイデア賞」をいただいた。 この企画により、多くの人に情報を認知していただき、実際の場面でそれぞれの人に合った選択ができればと考えた。 このコンテストで受賞したことを多くの人に知ってもらうことで、MVNOやMNO、イオンモバイルについて知ってもらえるきっかけになればと思っている。 コンテストでアイデアを評価され、賞をいただいたことを多くの人に知ってもらうことで、自身の成長と活躍につなげ、これから自分がさらに新たな挑戦をしていく際の糧にしたい。

優秀個人賞(父母の会会長賞)	経営3年	高橋 良雅	第4回全日本ブレイキン選手権に出場し、TOP8に入賞。オリンピック強化選手に選出された。選手権の出場者は予選を含めて31名。 全日本選手権Best8以内がオリンピック強化選手の選抜条件だったため、全日本選手権でBest8以内に入ることを目標とした。目標達成のために、まずオリンピックの採点基準に則ったダンスムーブを組むことに取り組んだ。これが最も難しく、苦労した。Best8以内に入るためには8回も踊る必要があり、その8回の中で同じ動きをすると減点されてしまうため、全てのムーブを別の内容にしつつ、高得点を取れるように組むことは非常に困難だった。しかし、周囲の仲間からのアドバイスなどを聞きながら、最終的には全ムーブをバランスよく組み、高得点の取れるムーブに仕上げる事ができた。 次に、組んだムーブを繰り返し踊る練習をした。踊る回数、休憩時間、かける音楽など、本番を想定して行った。体力をつけるという意味でも大きな効果があったように思う。 そして最後に、組んだムーブを使ってダンスバトルに出場した。全日本選手権程ではないにしても、本番の緊張感の中で踊ってみる経験によって、更にムーブの完成度が高まった。 他には、練習後の筋トレや食事制限も行った。これらの効果があり、本番はベスト体重、ベストコンディションで臨むことができた。このような取り組みの成果によって、本番では目標のBest8に入り、強化選手に選抜されることができた。昨年はこの結果に満足したが、今年も全日本選手権があるため、今年こそは優勝を目指したい。
奨励賞(父母の会会長賞)	コミュニケーション2年	秋山 小菜美	AJINOMOTO Miss College Dancer2023にエントリーし、挑戦した。 応募理由2点 1 6～9月に時間・お金・努力を費やして頑張ってきた。書類審査を通過し、セミファイナリストになった。 その後、ダンス講師によるレッスンが夏休みに3回開かれ、難しいトレーニングや厳しい声がかかる中、自分の成長のためにレッスンを受けた。 また、SNS審査があり、お題投稿、ダンスの練習動画を10投稿すること等が必須だった。 そのため授業、課題、アルバイトがある中、隙間時間を有効活用しながらダンス上達のため努力をしつつ、SNS活動を続けた。 審査にはオーディションもあり、最初のレッスンからどのくらい成長しているのか成長量の審査もあり、スタジオを借りるためのお金、練習時間を費やした。 ダンスのために全てをかけてきたこの期間は自分を成長させる価値の大きいものであり、ダンスを小学校から続けてきた私の大きな挑戦で、周囲の人が経験したことがないのではと考えた。 2 SNS審査では0人のフォロワーからスタートし、最終的には400人まで到達することができた。 周囲の人の支えがあったからこそ、自分自身最後まで全力で頑張ることができ、多くの人に支えられていると実感した。 自分をはじめ周囲の人の協力があった頑張ることができた大会で、自分にとって一番努力したことだと考えた。 実際の出場者数120人→セミファイナリスト69名
奨励賞(父母の会会長賞)	経営4年	谷川 颯馬	「we fruit club」という武蔵野美術大学の学生と共に立ち上げたプロジェクトを通して、「フルーツを通じて多くの人を健康にする」「第一次産業の活性化に貢献する」活動を行った。 プロジェクトを立ち上げたきっかけは「若者のフルーツ消費の減少」「若者の第一次産業就農者の減少」の2つの課題を解決するため。 《主な活動内容》 ①青森県のりんご農家での収穫作業・魅力を発信する ②企業への福利厚生として「フルーツ」を渡すこと ③若者が集まるイベントでの「りんご」の提供 会社のオフィスにて「ありがたりんご」としてメッセージカードと共に渡し合う企画で、100個のりんごを配ることに成功。企画満足度として「4.1/5」を獲得し、働く人たちにフルーツの魅力・第一次産業の魅力を伝えることが出来た。 「りんごを使った交流会」の企画・運営補助で、多くの学生にフルーツ・第一次産業の魅力を伝えることが出来た。 進一層賞の応募を通して、「フルーツや第一次産業」の魅力を他の学生にも知ってもらい、大学時代に積極的にチャレンジして学んでいく勇気や、他大学の学生との交流を作り、知見を広げるきっかけになれたらと考えている。
奨励賞(父母の会会長賞)	コミュニケーション2年	田中 航晴	毎年、葵陵会館に葵祭の開催を知らせる懸垂幕が掲げられ、2023年度の懸垂幕はこれまでにないほどスタイリッシュかつ力強い作品でした。 本学にもアート方面の才能を持つ学生がいることを可視化し、讚え、かつ、キャンパスにおけるデザインの重要性を私たち構成員が認識するきっかけにしたい。 推薦理由2点 1 本学にもアート方面の才能を持つ学生がいることを可視化し、その才能を讃えたい。 2 受賞が決まれば、キャンパスにおけるデザインの重要性を私たち構成員が認識するきっかけになることが期待できる。 キャンパス内の美しいデザインは、キャンパス環境を向上するだけでなく、構成員にインスピレーションを与える。 この受賞をきっかけにキャンパスにおけるデザインの重要性をますます多くの構成員が認識するきっかけになるとよいと考える。

IV. ゼミ学外活動部門

1. 社会貢献活動等

優秀団体賞(学長賞)	小木 紀親ゼミ		* 下記においての活動は、基本的に前年度と活動内容とはすべて異なる。 ①JR東日本nonowa×アンビー×小木ゼミのコラボにより、西国分寺お土産プロジェクトのキックオフとして12月22日に西国分寺のお土産商品を開発・販売した。小木ゼミは商品企画と販売を担当し、アンビーがこれを制作し、販売場所やプロモーションをJR東日本が担当する取り組みである。知的障がい者を支援するアンビーの商品の売上は過去最高の15万円/1日を記録した。こうした社会貢献を兼ねた同プロジェクトは来年度に向けて本格的に始動する予定である。 ②小木ゼミ企画の国分寺産ブルーベリーを使って開発した「ぶんぶんキャラベリー」及び「ブルーベリージャム」を、西国分寺駅祭りをはじめ多くの場所で本学を広く知らしめ、学生募集に寄与した。 ③葵祭において「こくべじ」にこだわり、国分寺産の野菜を使ったじゃがバターと豚汁の販売を行い、本学の社会・地域貢献活動に寄与した(11月4・5日)。 ④TFT×東経大生協×小木ゼミのコラボにより、健康ランチの提案・販売、アフリカの子どもの給食へ寄付する国際貢献活動を行い(7月33,320円、12月29,240円を寄付)、大学での活動を広く一般に知らしめた。 ⑤国分寺第2中学特別授業(9月26日)、小平南高校特別授業(11月22日)、オープンキャンパス(8月1・2日)においてゼミ活動に関するレクチャーを行い、本学を広く知らしめ、学生募集に貢献した。 ⑥多摩大学アクティブラーニング発表祭へ23年度招待ゼミとして発表を行い、社会・地域貢献活動を果たし、本学を知らしめた(12月16日)。 ⑦「地域活性化×SDGs」フォーラムを開催した(1月17日)。ニッポニアニッポン×大学SDGs委員会×地域連携センター×小木ゼミのコラボ企画である。
	経営3年	池上 華乃	
優秀団体賞(学長賞)	鈴木 恒雄ゼミ		立川市南口における活性化事業に貢献した。 《活動内容》 ①立川市南フェスタの開催 ・月に1度商店街や市役所の方々が参加する会議に出席 ・イベント用のSNS(Instagram/Twitter)を運営(ゼミ生が提案) ・イベント当日の運営 会議では学生の立場からイベントについて考え、それを積極的に述べるように努めた。 当日は商店街の方々からの「立川南口商店街を知ってほしい」というニーズに応えるために、イベント参加者に対し積極的に声をかけ、関わるようにした。 その結果、幅広い年齢層に参加してもらえた。 ②立川南口独自のトレーディングカードの開発 商店街や商店をモンスター化したカードを開発。カードを作成するため、実際に商店を訪れ、カード作成のお願いから、カード作成を承諾した店舗へのヒアリングを行った。 簡単なルールでカードゲームとして対戦して遊ぶことができる。 イベント参加店舗の売り上げ向上や認知度向上に貢献できた。
	経済3年	山中 綾萌	
優秀団体賞(学長賞)	鈴木 恒雄特別ゼミ		国分寺市の活性化に貢献した。 《活動内容》 1 国分寺マルイと連携し、「こくまる×東経大パンフェスティバル」を開催 イベントに出店して欲しいパン屋さんの提案や実際に店舗するパン屋さんのレイアウトの提案、ポスター作成など、企画段階からマルイと共同で運営を行った。 2 ポンパドールとコラボパンの開発 30案ほどを実際にポンパドールに提案し、「我々にはない着眼点を持っており、非常に興味深いものが多くあった」と評価され、3種類の新作パンが生まれた。 国分寺マルイのパンフェスで実際にパンを販売した。 客層、マルイのブランドなど様々な点を考慮し、自分たちが考えたパンの魅力を伝えながら販売。 自分たちが開発した自信作を味わっていただきたいとの想いが伝わり、パンフェスの7日間という短い間で、2681個のパンを買っていただいた。 コミュニケーション能力や販売促進の方法など、多くの成長があったと感じている。
	経済3年	山中 綾萌	

2. 学外コンクール等入賞

優秀団体賞(学長賞)	石川 雅也ゼミ		2023年1月20日～2024年1月19日までの期間において、ゼミでの研究活動に積極的に取り組んだ結果、以下のような成果を上げることが出来た。 ・第23回日経STOCKリーグにて、1グループが入選 ・第19回日銀グランプリにて、2グループが奨励賞を受賞 以上は、金融分野における大学生対象のレポートコンテストの中でも、権威ある組織の主催による多くの大学が参加する大会における成果であり、対外的に非常に大きな成果であると考えます。 日銀グランプリは、石川ゼミの過去の受賞実績としては、2014年度の優秀賞1本と敢闘賞・特別賞同時受賞1本、2016年度の奨励賞1本、2017年度の敢闘賞1本と奨励賞2本、2018年度最優秀賞1本と奨励賞1本、2019年度最優秀賞1本と奨励賞1本、2020年度敢闘賞1本、2021年度敢闘賞1本、2022年度最優秀賞1本と奨励賞1本に続く受賞となる。
	経済3年	安西 正貴	
優秀個人賞(父母の会会長賞)	北村 真琴ゼミ		北村ゼミナール3年生の4人でチームを組み、株式会社メンバーズが主催する、「CSVビジネスアイデアコンテスト」に参加。 三井住友カード株式会社テーマ:みなさんが考える、理想的な未来の社会と新しい消費のカタチとは？ 以上のテーマのもと、身近のゴミ問題に注目し、「新たな消費のカタチ、募金型有料ゴミ箱」を提案した。 全国の大学生全134チーム・総勢482名のエントリーの中から、本戦に出場する16チームに残り、本戦では審査の結果最も上位の賞に当たる「企業賞」を受賞したため。 6月の中旬にCSVビジネスアイデアコンテストに参加を決意し、夏のワークショップへの参加、エントリーシート通過を経て、本戦に挑んだ。 本戦では、緊張の中プレゼン発表を行い、企業の方に高く評価をしていただけた。本ゼミナールとしても、CSVビジネスアイデアコンテストへの参加が今回初めてであったが、結果を残すことができた。 ※複数人での参加のため、メンバー氏名を以下に記載。 経営学部3年 荒井寛太、石井麻衣、大森徹也
	経営3年	初貝 諭	
優秀個人賞(父母の会会長賞)	北村 真琴ゼミ		西武信用金庫主催「知財活用スチューデントアワード 2023」の本選大会(12月11日)にて、北村ゼミのチーム「ろくまるご」が富士通株式会社・スマートクリップ技術を活用したアイデア「置き去り防止くん」を提案し、最優秀賞(グランプリ)を受賞したため。 本アイデアは、自家用車内での乳児置き去り事故を防ぐものだ。社会問題を解決するシンプルかつ実現可能性が高いアイデア、ヒアリング調査に裏打ちされた事業計画が審査員から非常に高い評価を受けた。 本選前の中間発表会(10月中旬)を経て、2023年12月11日に5大学全9チームによる本選にて最優秀賞を獲得した。同大会での本学の最優秀賞獲得は、2018年度以来5年ぶりの快挙となる。 ※複数人での参加のため、メンバー氏名を以下に記載。 経営学部3年 牛山 桃子、辻 朱音、渡邊 杏太郎
	経営3年	小山 凌輔	
優秀個人賞(父母の会会長賞)	小木 紀親ゼミ		①西武信用金庫主催「知財活用スチューデントアワード 2023」の本選大会(2023年12月11日/中野セントラルパーク)にて、小木ゼミナール「チーム入口」による「水難事故防止！セルフポート」(富士通・水没防止技術)の提案・プレゼンテーションが優秀賞(準グランプリ)を受賞し、広く一般に東京経済大学を知らしめたため。本大会は、西武信用金庫の法人顧客が保有する知的財産を活用した商品・サービスのアイデアコンテストである。同大会は11年目を迎える大会だが、小木ゼミが参加した21年度以降、3年連続の入賞、2年連続の優秀賞(準グランプリ)となった。 ②NAGAOKAとのコラボ「こんな商品・キャラクターあったらいいなPJ」の外部公開での社長へのプレゼン大会が開催され(11月29日/東京経済大学/NAGAOKA社長、専務などが審査)、広く本学を知らしめたため。NAGAOKAはレコード針で世界シェア99%を誇る企業である。同日は、外部公開、オープンゼミにもした。さらに、この取り組みについては対外的な場面でも紹介(オープンキャンパス、父母の会、多摩大学AL祭、高校模擬授業、高校でのゼミ紹介等)、学生募集などにも貢献した。
	経営2年	大丸 明日香	
奨励賞(父母の会会長賞)	小山 健太ゼミ		IBインカレにて「日本語論文最優秀賞」を受賞した。約2年間のチーム研究の努力を評価していただきたい。 2年生から小山健太ゼミに所属し、約1年間組織心理学、異文化コミュニケーションに対する知識を蓄え続けてきた。論文や、英語のみで書かれた論文を週に1～3本をひたすら読み続けた。逃げてしまいたいと感じる事も何度かあったが、お互いが助け合う様に意識した事で辛い日々も乗り越える事ができたと考える。 3年生では「日本人留学生在が留学先での異文化接触度合いがCQの向上に影響する要因」というテーマを元に1年間をかけてチームで論文を完成させた。 初めは、チームワーク力等の問題があったが、チームに必要な事は、信頼関係の構築だと考え、お互いのプライベートの話をしたり、ゼミの授業後に食事をしたりなどメンバー1人ひとりがチームワーク構築のために積極的に行動した。 その結果、コミュニケーションが活発になりチームワーク力が向上し、一丸となって論文を仕上げる事ができた。また、東北大学まで出向きIBインカレに出場した。その結果「日本語論文最優秀賞」を受賞することが出来た。 この賞を受賞した時には、今までの努力が報われた様に思い、感じた事の無い喜びをメンバーと分かち合うことができた。私たちは難易度の高い研究をチームで切磋琢磨しながらやり遂げることができた。ここまで歩んできた私たちの努力を評価していただきたい。 出場団体数:29チーム
	コミュニケーション3年	加藤 風紗	